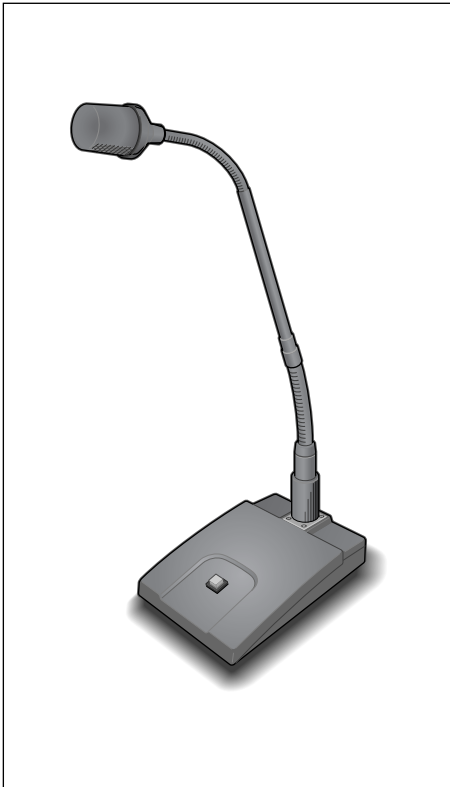


取扱説明書

コンデンサーマイクロホン

品番 WM-683



もくじ

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
免責について.....	2
安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	6
各部の名前.....	7
使いかた.....	8
周波数特性.....	12
指向特性.....	12
故障かな!?.....	13
仕様.....	14
アフターサービス.....	15

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
させていただきます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3ページ~5ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

商品概要

- フレキシブルシャフト形なので、原稿などの邪魔にならずにマイクロホンを口元に近づけられ、拡声レベルが向上できます。
- 指向特性をハイパーカーディオイドに調整し、ハウリングマージンを向上させています。
- ファンタム電源と単3形乾電池1本のどちらでも使用できます。

付属品をご確認ください

ウレタン製ウインドスクリーン..... 1
マイクケーブル
(φ5 mm、2芯シールド線約5 m キヤノンタイプコネクター 大型単頭プラグ付)... 1
取扱説明書(本書)..... 1


免責について


弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


警告

屋外で使用のとき雷が鳴り出したら、体から離す

 落雷の原因になります。

- ただちに使用をやめ、体から本機を遠ざけてください。

異常があるときはすぐ使用をやめる

 煙が出る、においがするなどそのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに、販売店にご連絡ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電池は充電・分解ショートしない



禁止

電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因になります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

分解しない、改造しない



けがの原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

電池は極性（プラス+とマイナス-）を正しく入れる



間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因になります。

充電式電池は使わない



禁止

万一、内部が破損していた場合、発火の原因になります。

使用上のお願い

取り扱い上のお願い

- 床に落としたり、物に当てたり、強い衝撃を与えないでください。
- アンプの上や暖房器具のそばなど温度の高い所や湿度の高い所に置かないでください。
- フレキシブルシャフトを曲げるときは、ていねいに曲げてください。無理に曲げると破損の恐れがあります。
- 本機の移動は、スタンド部を持って行ってください。マイク部を持って運ぶと、破損の原因になります。
- スタンド部は、安定を保つため重量（約900 g）があります。取り扱いには十分ご注意ください。落下によるけが、破損の原因になります。
- 雨の中や直接水のかかる場所では使用しないでください。故障の原因になります。また、花瓶など液体の入ったものをスタンド部の上に置かないでください。
- 本機には、鉄と亜鉛合金を使用しています。塗装がはがれると肌に触れる恐れがありますので、金属アレルギーの方はご注意ください。
- マイク部単体では使用できません。必ずスタンド部を接続してください。
- 接続機器の音量を最小にしてから、以下の作業を行ってください。
 - ・ マイク部およびマイクケーブルの接続や取り外し。
 - ・ 電源切換スイッチの切り換え。
- スタンド部に他のマイクロホンを接続しないでください。故障の原因になります。

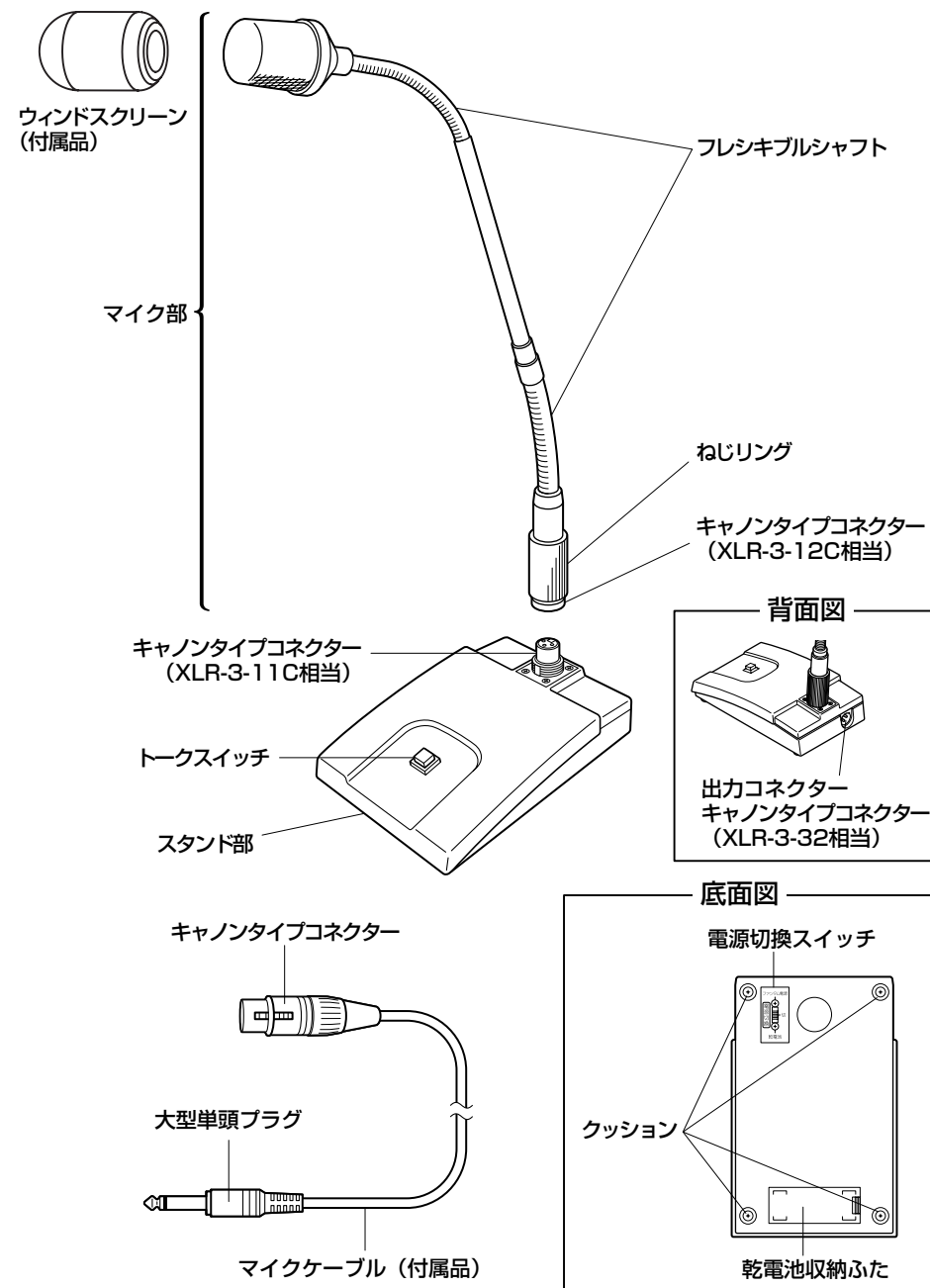
乾電池で使用する場合は

- 2週間以上使用しないときは乾電池を取り出してください。
- 本機は周囲温度+5℃～+35℃の範囲でご使用ください。+10℃以下になると使用電池の寿命が短くなるので動作時間などにご注意ください。

お手入れについて

- 乾いた布でふいてください。
- ひどい汚れは水を少し布につけてふき、最後にからぶきしてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
- 乾電池の極性や電池収納部の端子部は汚れた手で触れないでください。接触不良やノイズの原因となります。汚れたときは乾いた柔らかい布などでよく磨いてください。

各部の名前

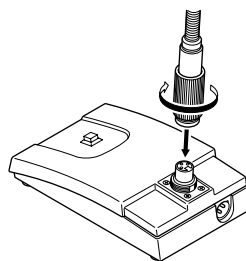


使いかた

本機は、乾電池とファンタム電源で使用できる2電源方式です。
お使いになるときはアンプの音量を最小にし、徐々に適切な音量に上げてください。
音量を上げすぎると、ハウリングが発生し、スピーカーやアンプの故障の原因になります。

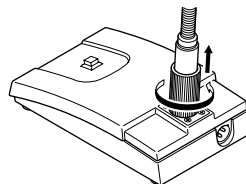
■ マイク部をスタンド部に接続する

- 1 マイク部とスタンド部を接続し、ねじリングを根元までしっかりと締めます。



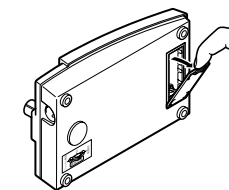
メモ

- スタンド部からマイク部を取り外す場合は、ねじリングを緩めてからマイク部を引き抜いてください。



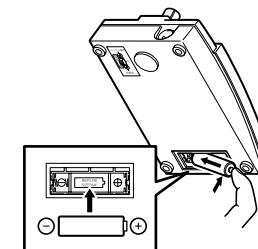
■ 乾電池で使用する場合

- 1 乾電池収納ふたを取り外します。

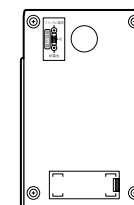


- 2 電池収納部に乾電池を入れます。

- 単3形乾電池を収納部の+、-の表示に合わせ、一側より挿入します。

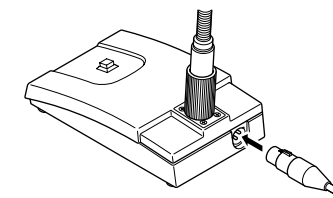


- 3 乾電池収納ふたを取り付けます。



- 4 付属のマイクケーブル（キャノンタイプコネクター側）を、スタンド部に接続します。

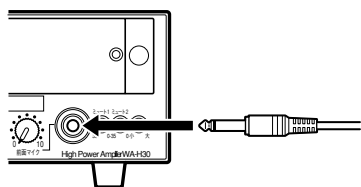
- キャノンタイプコネクターのロックがかかるまで差し込んでください。



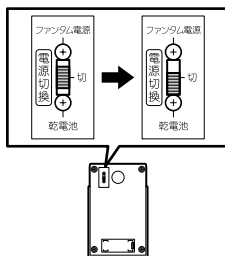
使いかた (つづき)

5 マイクケーブルの大型単頭プラグをアンプのマイク入力に接続します。

- アンプの電源をONにしてください。

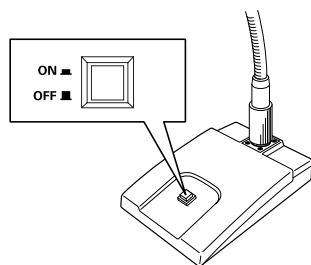


6 電源切換スイッチを“切”から“乾電池”へ切り換えます。



7 話しをするときはトークスイッチをONにします。話しが終わったらトークスイッチをOFFにします。

- トークスイッチを押すごとにON、OFFが切り換わります。
- マイクは口元から5 cm～10 cm程度離してお使いください。



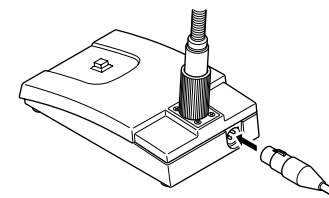
メモ

- 乾電池使用時は出力が不平衡出力となるため、アンプとの距離が遠い場合にはノイズの影響を受ける可能性があります。配線には十分ご注意ください。使用ください。
(例)
 - ・変換トランスを用いて平衡出力にする
 - ・ノイズ源から遠ざけて配線する
- 電池残量が減った場合には、音量が小さくなったり音質が劣化します。新しい電池に交換してください。

■ ファンタム電源 (DC12 V～DC48 V) で使用する場合

1 別売りのキャノンタイプケーブルをスタンド部に接続します。

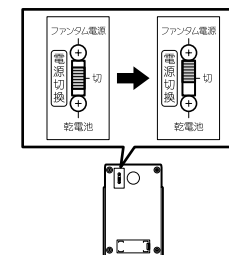
- キャノンタイプコネクタのロックがかかるまで差し込んでください。



2 別売りのキャノンタイプケーブルをファンタム電源のある機器に接続します。

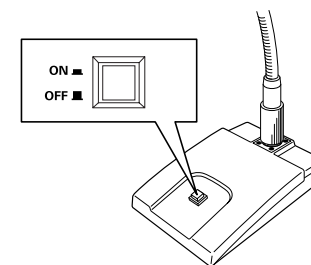
- 接続機器のファンタム電源をONにしてください。

3 電源切換スイッチを“切”から“ファンタム電源”へ切り換えます。



4 話しをするときはトークスイッチをONにします。話しが終わったらトークスイッチをOFFにします。

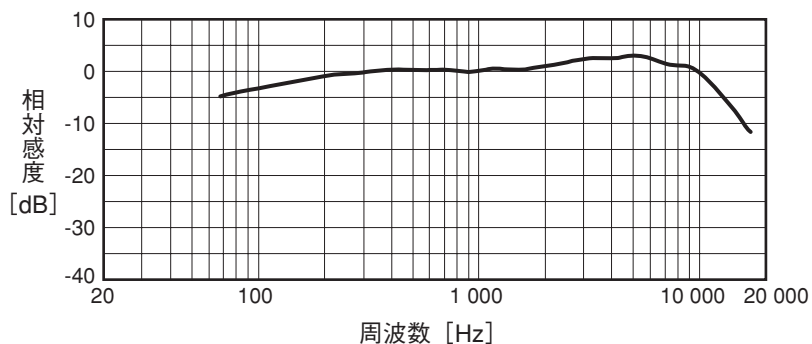
- トークスイッチを押すごとにON、OFFが切り換わります。
- マイクは口元から5 cm～10 cm程度離してお使いください。



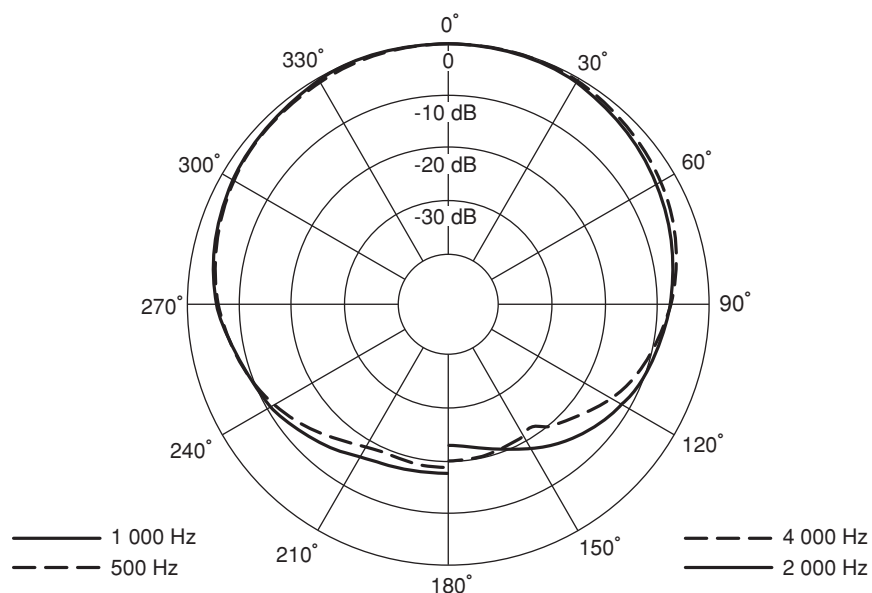
メモ

- ファンタム電源で動作させる際は、必ずファンタム電源のある機器に接続してください。

周波数特性



指向特性



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のとき、または工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因・対策	参照ページ
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● トークスイッチがONになっていますか？ ➔ トークスイッチをONにしてください。 	10、11
	<ul style="list-style-type: none"> ● アンプの電源がONになっていますか？ ➔ アンプの電源をONにしてください。 ● アンプのボリュームが最小になっていませんか？ ➔ ボリュームを適切な音量に調整してください。 	アンプの取扱説明書
ファンタム電源で使用する場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続機器のファンタム電源がONになっていますか？ ➔ 接続機器のファンタム電源をONにしてください。 ● 電源切換スイッチが“ファンタム電源”になっていますか？ ➔ 電源切換スイッチを“ファンタム電源”にしてください。 	接続機器の取扱説明書 11
乾電池で使用する場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池は入っていますか？ ➔ 乾電池を入れてください。 ● 乾電池の+と-の向きが間違っていないですか？ ➔ 正しい向きで乾電池を入れてください。 ● 電源切換スイッチが“乾電池”になっていますか？ ➔ 電源切換スイッチを“乾電池”にしてください。 	9、10
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の残量が減っていませんか？ ➔ 新しい乾電池に交換してください。 	10
音質がよくない		

形式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-35 dB±3.5 dB (0 dB=1 V/Pa、1 kHz)
周波数特性	100 Hz~10 000 Hz
指向特性	ハイパーカーディオイド
出力インピーダンス	乾電池使用時 600 Ω ファンタム電源使用時 200 Ω
最大入力音圧	110 dB SPL (全高調波歪率1 %、1 kHz)
固有雑音	24 dB SPL
電源	単3形乾電池1個 (1.5 V) ファンタム電源 (12~48 V)
使用電池	単3形アルカリ乾電池LR6 1.5 V×1個 単3形オキシライド乾電池ZR6 1.5 V×1個 単3形マンガン乾電池R6P 1.5 V×1個
電池寿命	900時間以上 (松下電器産業株式会社製単3形アルカリ乾電池LR6G、+20 °C連続使用にて)
消費電流	1.1 mA (単3形乾電池使用時) 2.1 mA (ファンタム電源48 V使用時)
出力ケーブル	φ5 mm、2芯シールド線約5 m キャンオンタイプコネクタ 大型単頭プラグ付 ※ファンタム使用時は別売りのキャンオンタイプケーブルが必要です
出力コネクタ	キャンオンタイプコネクタ (XLR -3 -32相当) ピン1: アース ピン2: ホット ピン3: アース (乾電池使用時) コールド (ファンタム電源使用時)
使用温度範囲	+5 °C~+35 °C
寸法	マイク部 : φ29 (最大径) mm× 462 (本体長さ) mm スタンド部: 120 (幅) mm×188 (奥行き) mm× 40 (高さ) mm ※突起含まず
質量	約1.2 kg
仕上げ	ライトストーンシルバー色塗装

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

13ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	コンデンサーマイクロホン
品番	WM-683
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	WM-683
販売店名	電話 () -		

松下電器産業株式会社

パナソニック システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410

3TR004302AAA
AM0507-0